

第9回 レギュラトリーサイエンス学会 理事会 議事録

平成 28 年 7 月 4 日午後 6 時 00 分、東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館の一般財団法人 国際医学情報センター会議室において、理事会を開催した。

出席者理事・監事

理事長（代表理事）桐野豊、理事 位田隆一、理事 稲垣治、理事 大野泰雄、理事 笠貫宏、理事 楠岡英雄、理事 児玉安司、理事 佐久間一郎、理事 長野哲雄、理事 藤原康弘、理事 松井陽、
監事 池田康夫

代表理事桐野豊が、開会を宣言し、次のとおり定足数に達する理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

理事総数 19名

出席理事 11名

一 決議事項

第1号議案 平成 27 事業年度事業報告に関する件

本議案につき、事務局から、平成 27 年 9 月に社員総会や学術大会を開催したこと、平成 27 年 12 月に再生医療等製品の承認審査に係るシンポジウムを開催する等計 4 回のシンポジウムを開催したこと、学会誌については第 5 巻第 3 号、第 6 巻第 1 号及び第 2 号を発行したこと、編集業務の一部を京都府立医大医療レギュラトリーサイエンス教室が無償で実施することとしたこと等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第2号議案 平成 28 事業年度事業計画に関する件

平成 28 事業年度事業計画に関する議案につき、事務局から、学術大会や講演会等の開催、機関誌の発行等の事業を例年と同様に実施するほか、昨年度実施できなかった学生・若手会員を中心とした教育研修会を開催したい旨説明があった。

理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第3号議案 平成 28 事業年度予算に関する件

平成 28 事業年度予算に関する議案について、事務局から、今 27 事業年度については単年度でみると約 25 万円程度の黒字の見込みであること、28 年度については、講演会等の収入・支出等について今年度の実績を踏まえて見積もったこと、機関紙出版費については投稿論文の増によって経費も増大してきたが、来年度については編集業務の実施方法を見直したことからその効果を見込んでいること等の説明があった。

理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第4号議案 定時社員総会の開催に関する件

本議案につき、事務局から、定時社員総会を平成28年9月10日に一橋講堂で開催したいこと、議題は平成27年度事業報告、同年度計算書類等の承認のほか、理事の任期切れに伴う理事の選任を予定していること、出席しない社員は書面等によって議決権を行使できることとしたいこと等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

二 報告事項

1 学会の現況の件

本年6月1日現在の学会の会員数が1,071名（正会員886名、若手会員129名、学生会員56名）であること等について報告がなされた。

2 第5回及び第6回学術大会の件

本年9月9、10日に開催予定の第6回学術大会について、プログラム等が事務局から報告された。第7回学術大会については、平成29年9月8、9日に一橋大学一橋講堂において開催することが了解された。また、大会長の選任については、理事長を中心に作業を行い、8月に理事会に諮ることとされた。

三 その他

1 利益相反管理の件

利益相反管理について、事務局より、日本医学会のガイドライン、日本臨床薬理学会の規定を参考に、当学会としても規定策定を検討したい旨説明があった。

複数の理事より、実務的なものとすべきこと、規定策定によって発表等に抑制がかかるような事態を招かないよう配慮すべきこと、発表に関する利益相反であって、企業との関係を全面的に資産公開するようなものではないこと、研究と発表における利益相反の違いに留意すべきこと、違反した場合の学会活動以外の活動の取扱いについても検討しておくべきこと、企業に所属する会員が委縮するようなことがないようにすべきこと等の意見があった。

これらの意見を基に、事務局で、規定案を整理し、理事会で検討することとされた。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は午後18時40分閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第42条第2項の規定に基づき、代表理事及び出席監事が記名押印する。

平成28年7月13日

レギュラトリーサイエンス学会

代表理事 桐野 豊

監事 池田 康夫